

# 経営比較分析表（令和2年度決算）

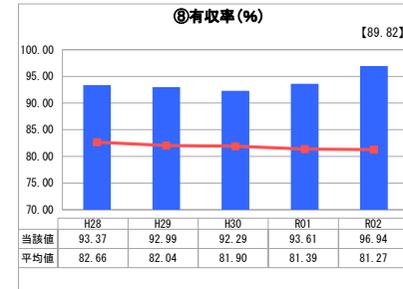
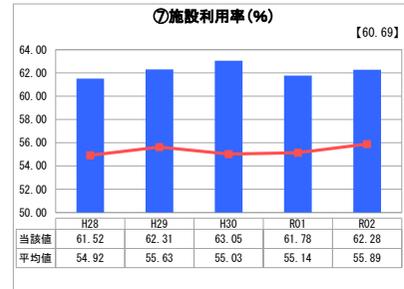
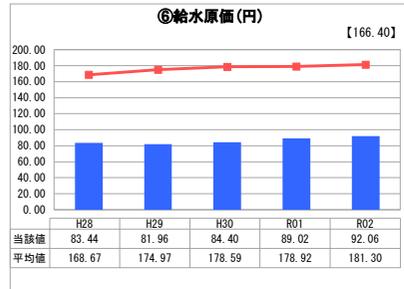
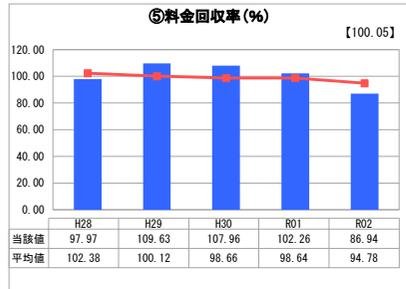
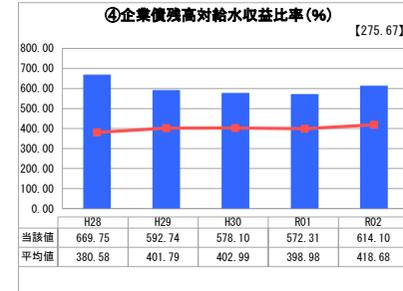
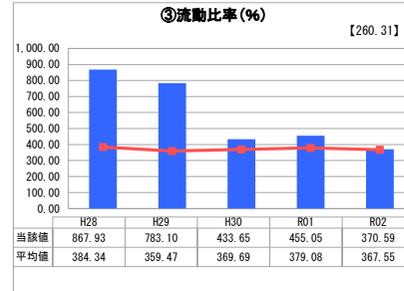
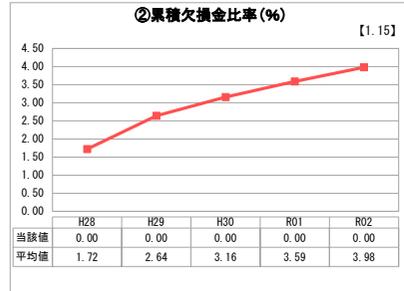
神奈川県 開成町

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	水道事業	末端給水事業	A6	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	1か月20m <sup>3</sup> 当たり客単料金(円)	
-	67.65	99.94	1,705	

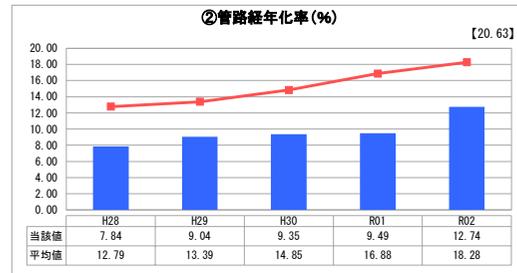
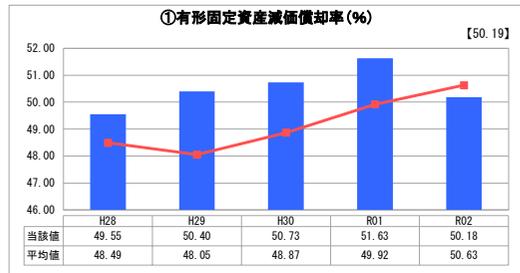
人口(人)	面積(km <sup>2</sup> )	人口密度(人/km <sup>2</sup> )
18,223	6.55	2,782.14
現在給水人口(人)	給水区域面積(km <sup>2</sup> )	給水人口密度(人/km <sup>2</sup> )
18,246	6.65	2,743.76

グラフ凡例	
■	当該団体値(当該値)
—	類似団体平均値(平均値)
【	令和2年度全国平均

## 1. 経営の健全性・効率性



## 2. 老朽化の状況



## 分析欄

### 1. 経営の健全性・効率性について

経常収支比率100%以上、累積欠損比率0%、流動比率100%以上であり、現状においては受託工事収益などの収入も安定しており、総合的な経営状況は良好です。  
しかし、企業債残高対給水収益比率は類似団体と比較すると高い水準になっていることから、企業債の利用制限を継続しています。また、料金回収率については、全使用者の基本料金を2期(4か月)分金額減免したため、給水収益が減り100%を下回りました。  
なお、有収率は類似団体平均値と比較し高い水準となっているため、引き続き効率的に配水できるよう、漏水調査を行い対応を図っていきます。

### 2. 老朽化の状況について

大規模な機械装置の更新を行ったことにより、有形固定資産減価償却率が下がったと考えられます。管路経年化率については、類似団体平均値と同様、上昇しており、老朽化が進んでいることがわかります。また、管路更新率は類似団体平均値と比較し高くなっていることから、必要な管路更新が進んでいることがわかります。  
引き続き、安定した配水を行うため、自然災害等に備えた重要管の耐震を計画的に進めていく必要があります。

### 全体総括

経常収支比率は比較的高い状態ですが、管路経年化率が上昇しているため、老朽化対策等、投資の在り方について検討が必要です。  
また、平成29年度に実施した料金改定の結果による料金回収率や給水収益の推移を注視しながら、経営状況の把握に努めます。